

夢咲牛ハヤシライスに舌鼓

地元特産物の遠州夢咲牛を使った「夢咲牛ハヤシライス」が9月29日、市内の幼保こども園や小中学校で給食として提供されました。浜岡東小学校では夢咲牛の生産者が、児童と共にハヤシライスを食べながら飼育方法などを話して交流しました。



いもじいさんをしのび法要

市の特産物であるサツマイモの栽培を御前崎に広め、「いもじいさん」の愛称で親しまれた故大澤権右衛門翁をしのぶ祥月忌法要が10月11日、海福寺で営まれました。子孫の大澤家や柳澤市長ら36人が出席し、功績をたたえました。



連携深めて最善策を模索する

市と前橋工科大学による「地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築」連携協定締結式が10月28日、市役所で執り行われました。柳澤市長は「前橋工科大学と共に、公共施設の最適な在り方について具体的に検討していきたい」と話しました。



こころの健康について知ろう

やきつべの^{みち}径診療所の精神科医である夏苺^{なつかりいくこ}郁子先生を講師に招きこころの講演会が10月1日、原子力広報研修センターで開かれ、市内外から約80人が来場しました。周囲の人々の理解や時間の経過がこころの健康を維持していく大切な薬になると伝えました。



秋を楽しむドングリ拾い

白羽幼稚園の全園児68人が10月14日、エコパークでドングリ拾いを楽しみました。園児らは夢中になって落ち葉をかき分け、ドングリや松ぼっくりを探したり、拾ったザクロの実を開いて中を見てみたりと秋の自然に触れました。



宝くじ助成で祭り用品を整備

桜ヶ池町内会では9月、宝くじの社会貢献広報事業として（一財）自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」を活用して、祭典などで使用する屋台^{まんま}幔幕や大太鼓などを整備しました。これにより、コミュニティ活動の活性化が期待されます。

